



# ダッシュ

NPO法人目黒体育協会会報 発行編集／NPO法人目黒体育協会

発行日／令和元年12月10日



## 『第58回目黒区体育祭開会式アトラクションーバトン協会によるサバンナダンスー』

令和元年度第58回目黒区体育祭開会式は9月8日(日)、台風15号の近づく中、40団体、総勢約390名にご参加いただき、碑文谷体育館内にて開催いたしました。

神原大会副委員長の開式通告の後、音楽体操協会岩渕美奈子選手を先頭に、サッカー協会少年選手4名が大会旗を掲げ、来賓の方々の前を整然と行進しました。各競技団体選手が行進と、各競技団体会長が起立をする姿は一体感があり良かったと思います。今回の運営から選手への体調を重視し、挨拶を聞く際には選手団は腰を下ろす、また給水所を配置するなどの配慮を行いました。

行進が終わり、青木大会会長からは、2020年の近づく東京オリンピック・パラリンピックを見据え、11月に迫った目黒シティランに向けての熱い意気込みの挨拶を頂きました。続いて、藤岡直彦大会副会長からは、都民大会での女子テニス等の好成績が紹介され、目黒区の各選手・団体の更なる飛躍を期待する挨拶を頂きました。その後、音楽体操協会小野由紀子選手の手選宣誓、バントントワーリングの華やかな演技に会場は沸き盛り上がりを見せ、皆様のご協力により開会式は無事閉幕することが出来ました。

## 『第58回目黒区体育祭開会式』

目黒体育協会 事業部長 小原 章



おめでとうございます



## 東京都功労者表彰(スポーツ振興)



加藤 れい子

(目黒区なぎなた連盟理事長)



## 区政功労表彰 受賞

松本 幸男様 (目黒区剣道連盟)

佃 美恵子様 (目黒区バレーボール連盟)

山崎 梢様 (目黒区ライフル射撃協会)

圓谷 一博 (目黒区テニスボール連盟)

## 『国体に出場して』

私は、ライフル射撃の伏射60発競技という伏せて撃つ競技と、地面に座るようにして片膝を立てて撃つ膝射20発競技に出場しました。今年は伏射の調子が良かったこともあり、自信をもって大会に臨むことができました。

しかし、国体には他の大会とは違う緊張感や雰囲気があり、いざ本番になるといつもより緊張が出てしまいました。本選では自分のパフォーマンスを十分には発



『伏射の競技』

揮できませんでした。最後まで集中を途切れさせずにか決勝へ進めました。

国体の決勝は本選の上位8名によって行われ、下の順位から脱落していく形式なのでより一層緊張感があります。その緊張感をプラスに考えて挑むことで、私はどうにか1位を決める最後の2人まで残りました。最後の1発は自分自身に負けた結果ミスショットをしてしまい、2位という悔しい結果となりましたが、この経験を次に活かして更なる向上を目指したいと思っています。

最後となりましたが、応援して下さい皆様及び関係各所の皆様へ、この場をお借りしてお礼申し上げます。

目黒区ライフル射撃協会 津場 恭平



『膝射の競技』



## 『トップアスリート観戦ツアー』

### 「第61回日本選手権25m水泳競技大会」

#### を引率観戦して

東京オリンピック・パラリンピックでは水泳が人気種目の一つと耳にしましたが、目黒区の当ツ

アーも40名募集のところ、20名近くの方が希望されたそうです。当選者は10月27日(日)12時に目黒区総合庁舎の南口エントランスにて受付を済ませ、東京辰巳国際水泳場へ向かいました。

車中では、参加者のほとんどが小学生と保護者のため、目黒区水



『長谷川さんから大会の説明』

泳連盟の長谷川さんが資料に基づき、「大会の競技種目・大会の歴史と会場」等について分かり易く丁寧な説明をしました。



『最後に選手から観客へプレゼント』

どの参加者はそれを競って取っていました。一生の記念品として、大切にすることでしょう。解散の時は、全員笑顔で、この事業が成功であったことを物語っていました。

企画してくださった行政と、ご準備くださった体協の方々に厚く御礼申し上げます。

目黒区水泳連盟会長 杉浦 重子

## 『親子でソフトボール大会』

10月5日(土)、秋晴れの爽やかな天気の下、小学校1年生から4年生までの男女児童41名と保護者39名が砧野球場に集まり、4チームに分かれトーナメント形式でソフトボール大会が実施されました。

元気な子どもたちと、ふだんはあまり遊ぶ機会のない父母の方々も一緒に楽しんでボールを追いかけてました。ピッチャーはお母さん、キャッチャーはお父さんの役割で、男性打者は利き手の逆の打席で打つのがルールです。いつもの少年野球とは違って子どもたちは大きなボールになじみがなく投げにくそうでしたが、何よりもハッスルしていたのは保護者の方でした。



『運動不足解消、お父さんも頑張って走ります』

そしてたくさんさんの「楽しかった」のご意見をいただきました。

目黒体育協会職員 石田 正剛

## 『多摩川ウォーキング教室に参加して』

秋晴れの快晴のもと、オリンピックの史跡を辿るウォーキングに出発しました。碑文谷体育館を出てすぐ「フジヤマのトビウオ」と言われた古橋

広之進の石碑を

見て、駒沢オリ

ンピック公園に

向かいます。前

回の東京オリ

ピックで使用さ

れた2つの聖火

台と東京オリ

ピックメモリア

ルギャラリーを見学しました。目黒区ウォーキング

協会会長、長谷川先生のガイドで身近にあるオリ

ピックの史跡をめぐ

り、参加者は喜んで

いました。オリ

ピック選手を多く輩

出している日本体育

大学の側、呑川の自然

を楽しむつつ、長

谷川町子美術館を過

ぎて246号線沿



『駒沢オリンピック公園 宇宙ケヤキの前で』

## 砧野球場・サッカー場現況について

本年、砧野球場・サッカー場管理事務所の改築工事のため

- 「砧ふれあいスポーツ教室」
- 「砧ふれあいスポーツ大会」が中止

となりました。

また10月の台風19号による冠水被害により、

- 「砧グラウンド・ゴルフ教室」中止、
- なお●「第58回目黒区体育祭秋季

軟式野球大会・サッカー大会」は一時中断していましたが、**野球場B面のみ12月1日から再開いたしました。**但し**その他のグラウンド**は現在も復旧工事中です。



『被害直後の砧グラウンド』



いから岡本公園へ行き、仙川の支流沿いの景色を眺めながらウォーキングをしました。途中、台風の影響の跡が残る砧グラウンドでスタンプから飲み物を頂き、ゴールの二子玉川駅を目指しました。グループで楽しく会話をしつつ自然を感じてウォーキングができ、満足感のある一日となりました。

目黒区ウォーキング協会 鈴木 和枝



## ●新規加盟団体紹介

### ―目黒区エアロビック連盟―

はじめまして。新しく目黒体育協会の仲間入りをさせていただきました目黒区エアロビック連盟です。

エアロビックは有酸素運動の「エアロビクス」

から生まれたスポーツです。現在、採点競技の競技スポーツと、フィットネスや健康体力づくりの生涯スポーツとして、子ども達から中高年者まで広く親しまれています。



目黒区エアロビック連盟では、健康寿命延伸を目的とした高齢者向けの「スローエアロビック教室」を区内の高齢者施設や体育施設で開催しています。また、新小学校学習指導要領の体づくり運動のひとつとしてエアロビクスが例示されていたことから、小学校3～5年生を対象とした授業の教材研究を区内の小学校と一緒に取り組んでいます。さらには今後、区内の競技エアロビック人口を増やし、どなたにも楽しんでいただけるような大会やイベントを企画して、皆さんに参加してもらえよう努力していきたいと思っています。

目黒区エアロビック連盟 会長 浅山美樹

## ●新規加盟団体紹介

### ―目黒健康体操連盟―

令和元年という記念すべき年に目黒体育協会に加盟させていただいた目黒健康体操連盟です。連盟の名の通り体操・バレエ・ヨガ・格闘技などの指導者が集まり、区民の健康増進に寄与することを目的に立ち上げました。

活動として①ストレッチ・ヨガ・リズム体操などの動きを取り入れた一般体操②男性指導者による男性参加率向上のためのプログラムの導入③身体を動かす遊びの楽しさを知ってもらうだけでなく幼少期から運動習慣を身につけることを目的とした親子体操④シニアの方には体力に合わせて楽しみながらできるコミュニケーション体操など、豊富なカリキュラムを展開し提供してまいります。

体操はいつでも、どこでも、どなたでも簡単にできることが必須です。

体操を通して健康

で楽しい生活を送るための体力・気力・活力を生むお手伝いができることを願っております。各フィールドの指導者がワンチームとなり区民の健康に貢献していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



目黒健康体操連盟 会長 横田由紀子

## 『ラグビーワールドカップ2019 パブリックビューイング観戦記』

開幕戦となった対ロシア戦、続くアイルランド戦と、2戦2勝を挙げていた日本代表の3戦目、対サモア戦を目黒区ラグビーフットボール協会主催で行われた目黒学院記念館でのパブリックビューイングで観戦をしました。

ラグビー強豪校である目黒学院の校舎には『卒業生モエアキオラ・アタアタ日本代表選出』の横断幕があり、会場前にはユニホームをはじめ関連グッズの販売もありました。但し学校施設のため



飲料はお水とお茶だけ。ビール片手にとはいきませんでしたが、大型扇風機2台がフル稼働。全員に「TRY」と書かれた応援用のハリセンが配られ、折り目を畳んで準備完了です。

いよいよ19時30分キックオフ。みんなスクリーンに吸い寄せられて真剣です。あちこちから『そこだ！行け！』『押せ！押せ！』『展開の速いプレーが続いてTRY！』『いいぞ！』と一斉にハリセンをバシバシと叩き、選手の名前を叫んだりして熱が入ります。前半16対9に場内も一息つき、見回すと250人位の盛況です。後半も相変わらず熱烈な大声援とバシバシ音が飛び交い、結果38対19で勝利。84分28秒に及ぶ熱戦が終了し、皆興奮冷めやらないまま会場を後にしました。

目黒区なぎなた連盟 川村 泰子

# スポーツde障がい者交流会 2019

—スポーツで拓く未来—

11月4日（月・祝）目黒区立八雲体育館

昨年に続き、今年も「スポーツde障がい者交流会 2019」に参加させていただき、光栄に思います。

先日の交流会を通して、子どもたちはより一層スポーツに興味を持ったように感じます。ボランティアの方々や一般の方々とはスポーツを通じて交流すること、子どもたちには貴重な経験でした。みんなとスポーツを通して交流することで、子どもたちは色々な表情を見せてくれました。その様子を見ると、スポーツを通じて交流することにより、人と人を繋ぐことができる可能性というものがあるのではないかと考えることができました。皆様との貴重な交流の時間は、子どもたちの思い出になることと思います。

アトリエほんちよう  
に声を掛けてくださっ  
た目黒区立中央体育  
館の方々、並びに  
「スポーツde障がい  
者交流会2019」  
の参加者の方々に、  
この場を借りて感謝  
申し上げます。ありが  
うございました。



アトリエほんちよう 職員



「ボランティアは人のために無償で何かすること」と思っています。今回参加したことによりその考えが変わりました。

けがをしていた私は迷惑をかけてしまうのではないかと心配していましたが、

「笑顔でいれば大丈夫。」とコーチから声をかけていただいたことで安心して活動に参加することができました。コーチの言葉通り、笑顔で障がい者の方々と接していると、ハイタッチをしてくださったり話しかけてくださったりと楽しい時間を過ごすことができました。活動を心配していた私は、いつの間にか明るくポジティブな気持ちになっていました。

今回の活動を通して、人のために活動をすることは自分自身も素晴らしいものをもらえるということに気づくことができました。これからも様々なボランティアに笑顔で参加していきたいです。素晴らしい経験の場を作ってくくださりありがとうございました。

トキワ松学園高等学校 一年 田村 凜

今回、スポーツde障がい者交流会には、パラリンピック競技種目のボッチャと全大会競技種目のフライングディスクの指導で参加しました。

ボッチャでは、始めジャックボールにボールが寄らなくて難しい部分もありましたが、参加者の方々が一生懸命練習することで、最後は近くに寄せることができました。また、ボランティアの高校生のサポートもあり、参加者全員がプレーを楽しむことができました。



うか。これからも応援していきたいです。

日本体育大学 今野浩太郎





## 1964 東京オリンピックの回想



東京五輪のチケットが販売され競技場の建設も進み、世論もいよいよ盛り上がってきました。

昭和39年当時のライフル射撃競技は、戦後から続いていた一般のライフル銃の所持が昭和27年(1952)によりやく解禁となり、その空白を埋めるための努力の時でありました。競技場は埼玉県朝霞市の陸上自衛隊朝霞駐屯地内射撃場で行われ、我が国の選手達は学生連盟OBや自衛隊体育学校選手が活躍しました。オリンピックでは海外のトップアスリートと交流し、遅れていた日本勢にも大きな発展の力となったものです。私は競技の進行の手伝いをしておりましたが、もう55年前のこととなり、だいぶ記憶も薄れている中で、一つ思い出すことがあります。



『 現在残っている、当時の朝霞五輪射撃場跡 』

当時は全てアナログの時代で、今の設備を考えると昔日の感がありますが、この時大活躍したのが「うちわ」でした。遥か遠くにある監的場に待機する標的係と



の交信は、競技場に設置された有線電話のみでした。その数も限られ、音声聞き取りにくいので競技場内で叫んでも距離や銃声でなかなか届かないので、「うちわ」にOK、×を片面ずつ大きく書いて、準備完了などの合図をするのに用いていました。また、選手やスタッフの暑さ対策にも用いられ、大変便利な道具でした。今回の五輪にも「うちわ」が日本的な「よいもの」として対策に活用されれば、日本の風情の伝播に効果があるかもしれません。



『 有線電話跡 』



『 当時使用された 50m 標的、右上に「TOKYO 1964」 』

来年の五輪では、最新技術を用いた設備が活躍することでしょう。ライフル射撃競技は他の各種競技のように派手さはありませんが、一発逆転が可能になる「ファイナル競技」など見せ場も多いかと思えます。東京五輪の大成功を祈ってやみません。

目黒区ライフル射撃協会会長 安藤 銆一  
写真提供

：目黒区ライフル射撃協会理事長神原康幸



(敬称略 受付順)

【個人】大塚 雅信

なぎなた連盟

【団体】株式会社協栄

(11月末現在)

★賛助会員(芳名)

ご協力の程お願い申し上げます。

今後とも変わらぬご支援、

厚く御礼申し上げます。

今年度左記の方々から賛助会

費のご協力をいただきました。



『 選手の荷物を預かります 』

11月24日第4回目黒シティランに、体協から今年は269名がボランティアとしてお手伝いをしました。

◆目黒シティランに  
ボランティア派遣